

# 現場 正確な情報の收拾に努める

## を見て 東奔西走の高見澤県議

### 計画通り進んでいるのか

### 新規要望箇所の現況は

5月10日、高見澤県議は佐久建設事務所と行政懇談会を実施しました。懇談会の前に南佐久管内の事業箇所や、地域からの要望箇所の現地調査をしました。

#### 完成間近の砂防えん堤

小海町総合センター西側の二夕子池団地は、平成16年の台風23号により、上部



小海町の砂防えん堤の現況を調査

斜面から土砂が流出し、被害を受けました。下流側には社会福祉センターやすぎ園等もあり、住民の皆さんから土石流災害等の防止対策に対し強い要望がありました。

#### ようやく着工 北沢川の改修

佐久穂町宿岩地区に流れる北沢川は、大雨のたびに氾濫し、床上浸水や田畑に被害を及ぼしてきました。改修に向けて住民の皆さんと協議を重ね、ようやく改修計画が実現の運びとなりました。まだ課題は残されていますが、今年度には千曲川との合流地点から改修が始まります。

#### 右折レーンは可能か 小海大橋東側

国道から小海大橋を渡り、県道川上佐久線との交差点は小海線踏切が近いうえに、



右折レーンの要望箇所を調査

商店街方面に右折する車が橋の上で待つため、親沢方面に直進する車や八千穂方面への車の流れが悪いため、小海大橋上に右折レーン設置の要望があり現地の調査をしました。

現在要望に応えるための作業が進んでいます。

#### 狭隘のR141 海尻地籍

南牧村の国道141号線海尻地籍は、道路幅が狭く

歩道もなく、児童生徒の通学や住民の日常生活が、危険と隣り合わせの状況です。道路拡張は長い間地域住民の皆さんの願いでもありました。現在住民の皆さんと協議をしながら、大月川周辺から具体的な調査に入ることになりました。



難工事が予想される大月川付近

### 知事の南佐久訪問に努力!!

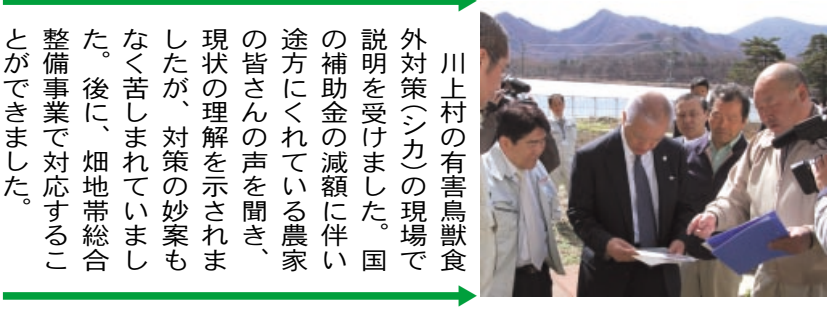
「知事に南佐久の現地を見てほしい」との思いで高見澤県議は、4月に「ようこそ(移動)知事室へ」の南佐久地域視察の実現に努力しました。今回は福祉施設など、従来足を運ばなかった箇所にも訪問いただきました。残念ながら村井知事は勇退し、阿部知事の誕生となりましたが、南佐久の課題解決について今後も引き続き努力をと決意を語っていました。



佐久穂町の「高野町農産物直売所(町の駅)」を最初に視察され直売所の役員の皆さんと懇談されました。現在では町の補助金もありませんが、黒字にもう一步との報告に感心されていました。



南相木村の「工房あいき」では、工房に携わる皆さんと懇談し、加工品のネーミングなど村井知事からアイデアを出されるなど、積極的に村民の皆さんの声を聞いていました。北相木村では村診療所のユニークな取り組みに感心されていました。



川上村の有害鳥獣食外対策(シカ)の現場で説明を受けました。国の補助金の減額に伴い途方にくれている農家の皆さんの声を聞き、現状の理解を示されましたが、対策の妙案もなく苦しまれていました。後に、畑地帯総合整備事業で対応することができました。

### 勉強会・研修会 積極的に参加

県議会議員や県内の市町村議員及び一般の皆さんが参加した、「マニフェストin長野」が長野市で開催され、高見澤県議は実行委員のひとりとして参加しました。グループワークでの「地域主権時代における地方議会の役割」などの議論と事例作成作業は参考になりました。



「日本の再生・地方自治の創造～地方からの挑戦～」と題する第1回日本自治創造学会研究大会が東京で、地方議会議員を中心に首長などが参加して開催されました。地域主権国家への転換を図る必要性と、その主役として地方議会人が主役になって活動しなければならないとの認識を新たにしました。

長野県消防学校の現地調査では、高見澤県議は火災時における火災の中に飛び込むときの防火衣と空気呼吸器の試着や、高いビルなどで火災等の際、階上から緊急避難するための「緩降器」体験をするなど、果敢に緊急時に備えて体を張って挑戦しました。

